

空から見たジャカルタ漁港の歩み

1981年～2022年

1981年



岸壁の杭打ち工事と埋め立ての様子。遠方左にバタビア時代の灯台*が見える。

1981年



東側岸壁のコンクリート工事*。左手前は測量用の竹の足場*。

1984年



完成直後の漁港。ジャカルタ市内*には高層ビルはまだない。

1984年



完成直後の漁港。現在の加工工場
用地には、まだ水が溜まっている。
後背地には住宅はまだない*。

1984年

防波堤

漁船修理場

漁船用燃料タンク

バタビア時代の灯台

陸側から見た新漁港。手前の造成地は港内しゅんせつ土砂を利用したので、この時点では田んぼのような状態で人も歩けない。

1984年



職員仮眠所 食堂 管理事務所

給水施設

冷蔵庫 氷工場

荷捌き場

上屋

岸壁

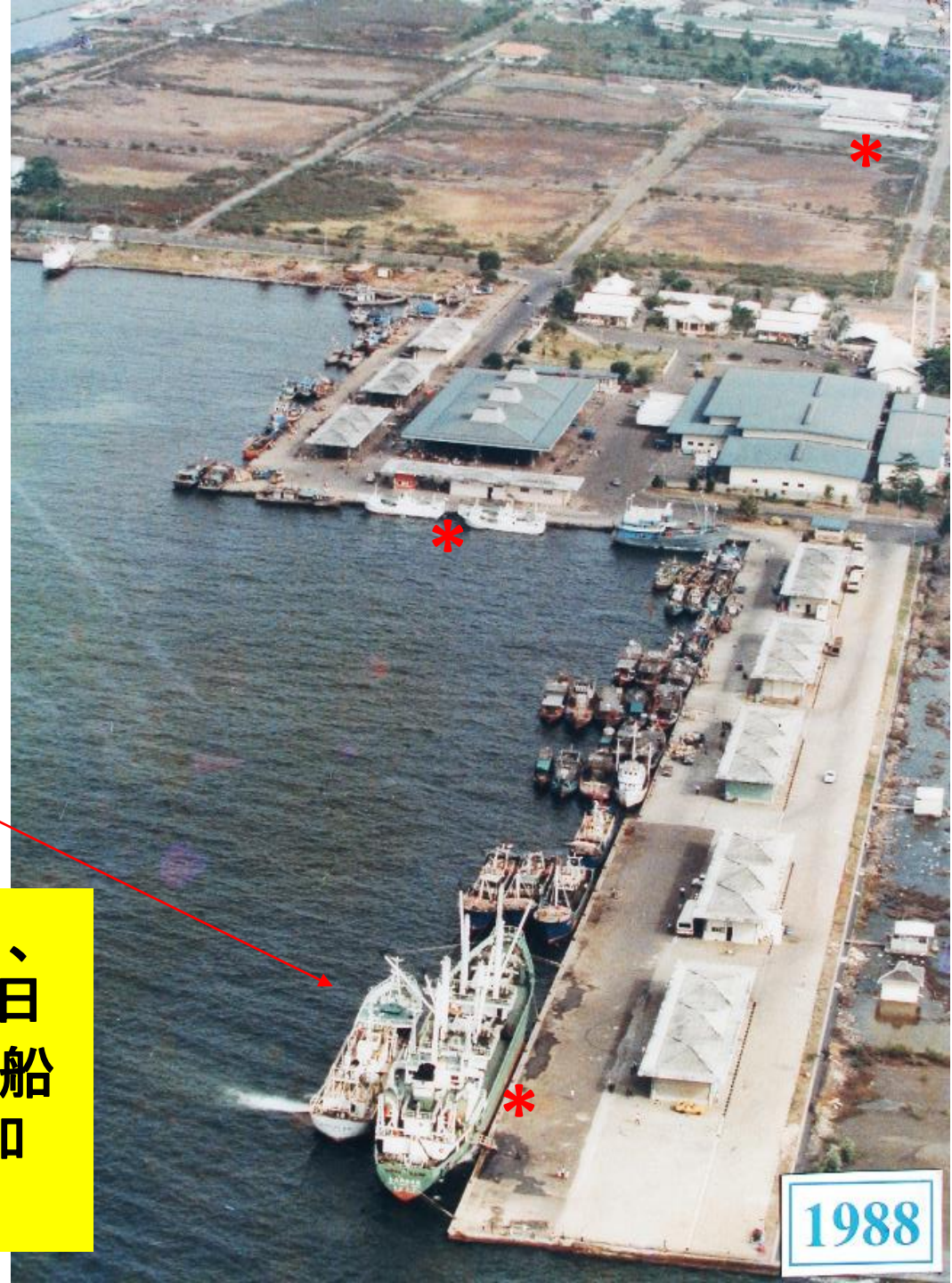
This is an aerial photograph of a fish port facility. The facility is situated on a rectangular plot of land, likely reclaimed or developed, with a body of water on the right side. Several buildings are visible, each with a specific function labeled in Japanese. The labels are in yellow text. The buildings include a large blue-roofed structure for refrigeration and ice production, a smaller blue-roofed structure for cargo handling, and several white-roofed structures for administrative and support functions. A parking lot is visible on the left side of the facility. The overall layout is organized and functional, typical of a port facility.

漁港に必要な最小限の施設をODAで建設した。

1988年



中央の岸壁では生マグロの陸揚げが始まり、日本へ空輸されるようになった*。手前右は日本からの大型冷凍運搬船で、左のマグロ漁船から転載され日本へ輸送される*。後方の加工団地ではエビ工場*が操業を開始した。



1988年

漁港への唯一のアクセス道路(Jalan Muara Baru)周辺。この頃はまだ道路周辺*や池の周辺には不法居住家屋はなかった。今は不法居住者で占有されている。



1992年

水産加工場*が増えてきて、漁港で働く人が増えてきた。西側岸壁中央に棧橋*が自国予算で増設されて漁船も増加してきた。魚市場*も新設され、ジャカルタ中央卸売市場の機能が強化された。



1996年



第4期事業調査設計時の写真。漁船*が増え、並列して岸壁に接岸するようになった。加工場*もさらに増えてきて、污水处理場などの環境整備が急務となってきた。

2000年



第4期事業による水深7.5 m 棧橋
(延長200 m)の工事が完成に近い。

2000年



2000年

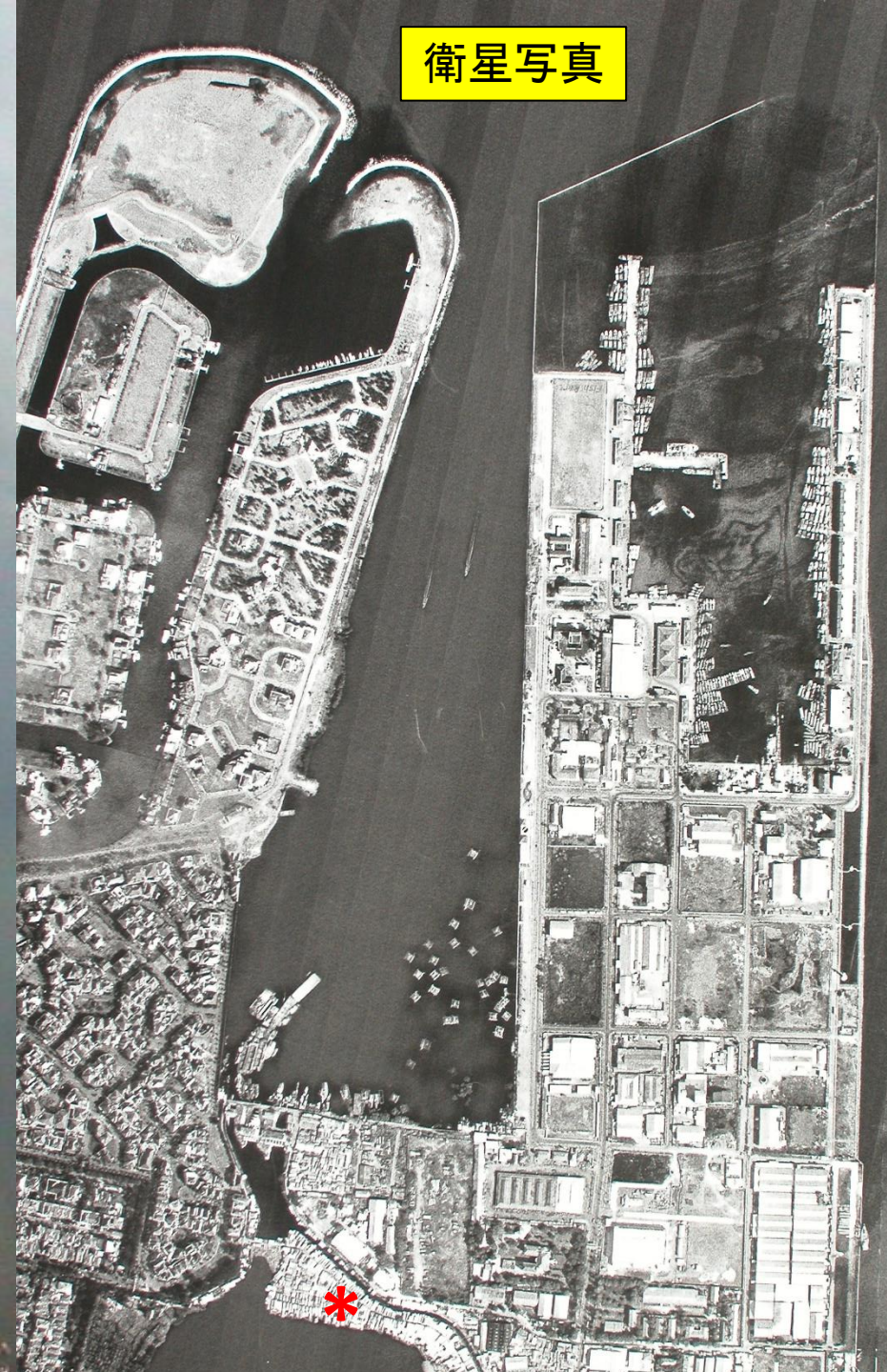


2001年



ジャカルタ空港離陸後の国内便から撮影。池の周辺に不法住居*が増加したのがよくわかる。

衛星写真



2001年



第4期工事完成后(手前右:200mの水深7.5 mの棧橋延長*、左岸壁
沿い:生マグロ荷捌き場*の新設、左奥には海水浄化システムの池*)

2001年

スندگانラパ港

Pluit洪水調整池



2001年

高級住宅地

水産加工工場

海水浄化システムの池



2006年



リハビリ事業調査時に撮影。浮遊している廃油*がよくわかる。

2006年

生マグロ陸揚
げセンター

海岸遊歩道



2006年



漁船修理場

漁船修理場は4期工事で同時に2隻修理が可能に改良した。

2006年

高級住宅地



2006年

スنداクラパ港

Pluit洪水調整池

国際定期便から撮影。別の滑走路に進入する国内便が見える。

2006年



2006年



2006年

マングローブ護岸



2006年

港内海水浄化システムの池



2010年

漁船への給油所



リハビリ事業の終わりころ。右防波堤*
が二重になっているのがわかる。

2010年



2011年



リハビリ事業完成。西護岸のマングローブ沿いに堤防*を強化した。東西に雨水貯水用の池*を新設して、降雨時には排水ポンプが自動作動し、港内の洪水を防いでいる。

2012年



水産加工場

漁船修理場

2012年

漁港管理事務所

管制塔

荷捌き場



2012年

漁港背後からの写真。中央に新しい荷捌き場*がコントロールタワーと並んで見える。



2012年



2012年



リハビリ事業で追加の荷捌き場*、漁港
管理事務所*が完成。漁船の数が大型
運搬船*を含めかなり増加している。

2012年



2012年



管制塔

荷捌き場

漁船管理事務所

2012年



漁港管理事務所 (UPT Office):

* 漁港資料館を整備中

2012年

民間冷蔵庫

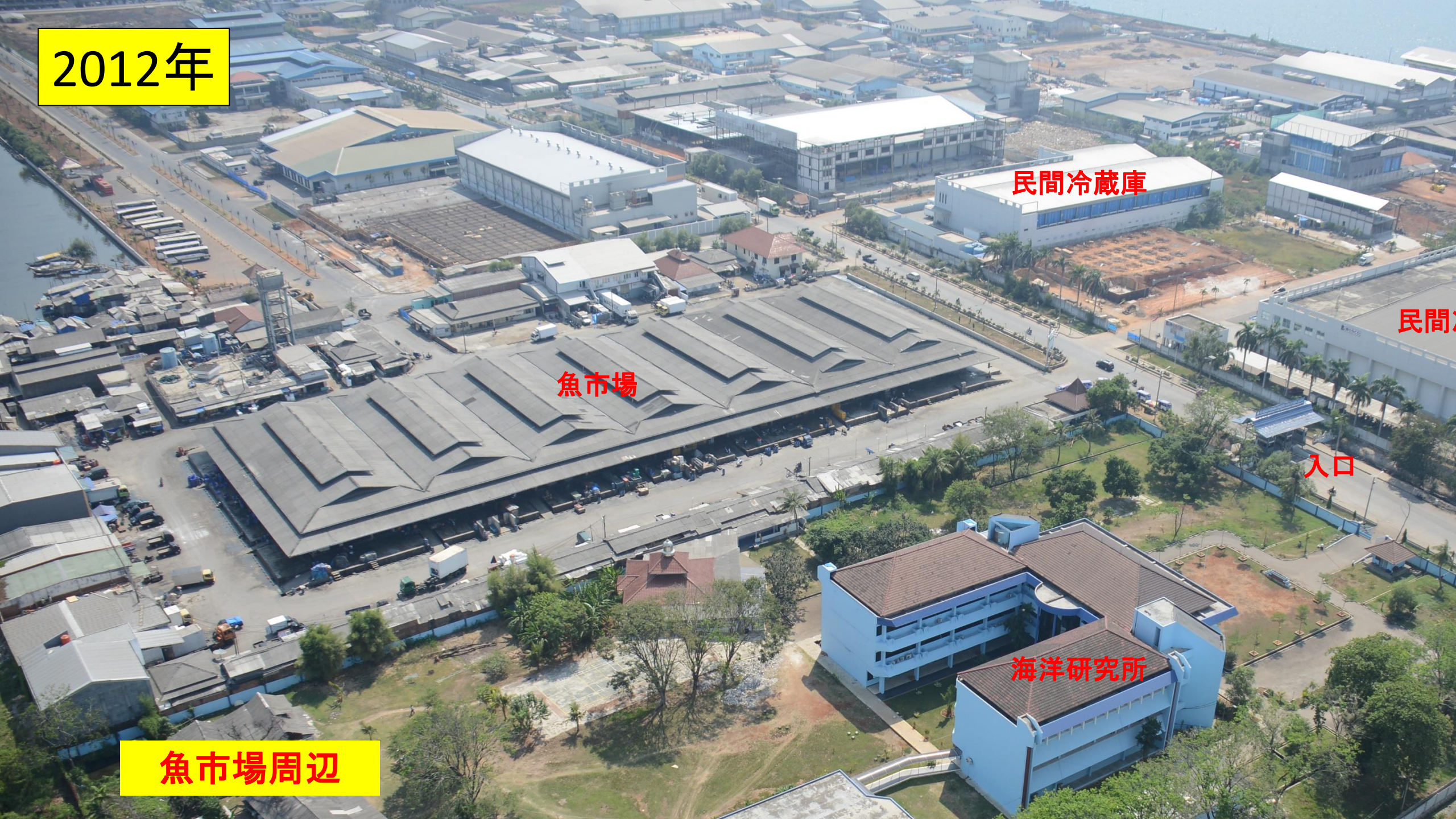
魚市場

民間

入口

海洋研究所

魚市場周辺



2012年

水産加工場および冷蔵庫

マングローブ護岸



2012年



マングローブ防波堤(本書:P145)

2012年

マングローブ護岸(本書:P148)



2012年



污水处理場



2012年

民間冷蔵庫
(14000トン)

水産加工場および冷蔵庫

調整池(干潟・マングローブ)

最古の灯台

雨水排水ポンプ場

インレット・アウトレット

本書:P153-156

潮位差を利用した港内海水浄化システム



2012年



貯水池

ポンプ室

排水管

雨水排水システム(東側)

2012年

Jalan Muara Baru (ムアラバル通り)

今後の最大課題のアクセス道路の代替案

2013年



ジャカルタ空港到着前の定期便から撮影したジャカルタ漁港。

2013年



漁港の背後にスモッグに覆われるジャカルタの高層ビル群、そして3000m級の山々。

2016年



水産加工場で後背地は埋まっている。

2016年



西護岸のマングローブがよく育っている。

2016年



2016年



漁港西側の海域の埋め立てが始まった。

Sep. 2016



ジャカルタ漁港

Sep. 2016



Sep. 2016



Sep. 2016



マングローブ防波堤

Sep. 2016



マングローブ防波堤

2018



2018



2018

公共事業省の防潮堤



2018

旧魚市場

新魚市場2019.3開場



2019



2019



2019



2019



2019



2019



2019



2022

水産加工工場

800隻ほど停泊

防波堤

マングローブ護岸・防波堤

防波堤

2022.5.3



2022

最古の灯台

魚市場

水産加工工場

マングローブ護岸

管制塔

2022.5.3



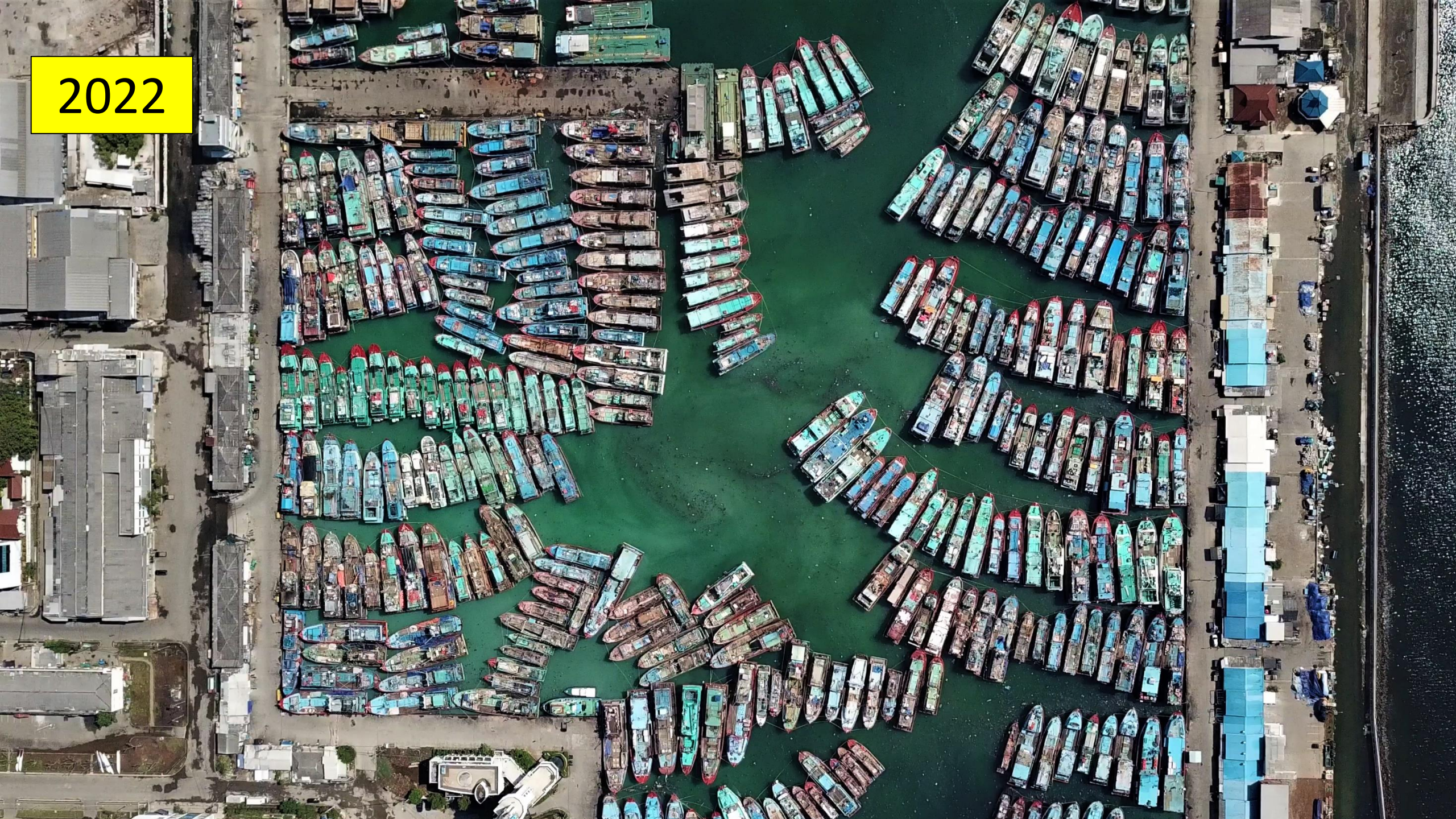
2022



2022



2022



2022



2022



2022



2022



2022



2022



2022



2022

新魚市場2019.3開場

旧魚市場(解体)



2022



2022

